

つつじ

2025年7月発行

第68号

KOUSAIKAI



目次

- P 1 ◆ 活動の様子
- P 2 ◆ 新年度の挨拶 求人活動
- P 3 ◆ 外部講師 事業所コンサル
- P 4 ◆ あすなる祭 新年会



発行元：社会福祉法人 広済会 発行責任者：理事長 石倉信男
〒376-0123 群馬県桐生市新里町武井455-1
TEL：0277-74-1530 FAX：0277-74-5830
URL <https://www.tsutsuzigaoka.net>





「令和7年度をむかえて」

令和7年度が始まりました。昨年度は制度改正があり、各事業所では対応に追われながらも着実に適応を果たしました。特に入所施設では、重度化する利用者への支援が評価され、一つの安心材料となつていきます。一方、就労系やグループホームでは制度が厳しい方向に進み、理想と現実のギャップは依然として課題です。

だからこそ、利用者が安心して暮らせる環境を守るため、学びと実践の継続が求められます。今年度は7名の新職員を迎え、新人研修や2、3年目研修を開始。内部研修を年間通じて行い、組織力の底上げを図ります。また、前橋医療福祉専門学校より「障害の理解」の授業を外部講師として依頼されるなど、法人外への発信も始まりました。設備面では、グループホームの新築に続き、就労継続B型クローバーの新築にも着手。法人周辺の駐車場整備も進み、地域とのつながりも広がっていきます。

今年度は中長期計画の3年目。一歩ずつ積み重ねてきた歩みが、法人の確かな成長へと結実していると感じています。

統括 高瀬裕行



「求人関係Gメッセに参加して」

広報委員会の活動の一つとして求人活動があります。広済会の魅力を発信しより多くの新規職員の獲得を目指しています。今回初の試みとして、Gメッセ群馬で開催される福祉業界のイベントに出展しました。昨年末から準備を進め、ブースの装飾にもこだわり、ノベルティグッズの新規作成も行いました。当日はたくさんのお客様の皆さんに広済会のブースに来ていただくことができました。初めてのことで、ぎこちなかった法人の説明も、時間が経つにつれて上手になり、交代で行いながら協力して対応することができました。来年の新入職員も10人獲得を目指して頑張っていきたいと思います。

相談室 山口千明



「外部講師を経験して」

「前橋医療福祉専門学校」にこの度、広済会から講師として赴くことになりました。担当教科は「障害の理解／障害のある人の生活の理解と支援方法」です。依頼の理由について「卒業生の就職傾向は高齢施設が多く、知的障害については講師陣も詳しくないので、実際に触れながら実際に関わっている方に授業をしてもらえると生きた授業になると考えている」とありました。講義初日では外国籍の方を含めた70名の方が講義を受け、皆さん真剣に耳を傾けていました。今後広済会を含め、知的障害分野への理解と就職が進むことを願います。

みたけ寮 小池利明

「事業所コンサルを受けて」

はなぞのでは昨年度、群馬県強度行動障害総合支援事業である事業所コンサルを受けさせていただきました。事例対象のS様は5年ほど作業室に入れず自立課題に取り組むことが出来ていませんでした。しかし、コンサルの助言を受けながら支援の再構築を行ない徐々に課題に取り組めるようになり、最終的にはワークシステムを取り入れ、毎日、自立課題を作業室で行えるまでになりました。助言を受けながら自信を持つて皆が支援に取り組めたことが良かったと感じています。はなぞのでは強度行動障害をお持ちの方が多数を占めており、今後もこういった事業を上手く取り入れながら、利用者様が安心して生活出来る環境を整えていければと思います。

はなぞの 齋藤拓也



「あすなる祭参加」

3月8日にあすなる祭ステージ部門に参加をしました。

今回は『光の園』『はなぞの』『みたけ寮』『つつじヶ丘ホーム』の4つの事業所の有志が集まり、合同チームを結成しての参加でした。全体練習の時間をなかなかとることができない中で練習を重ねるごとに息の合った踊りができるようになりました。本番では1曲目に『パプリカ』のダンス、2曲目に『あり



がとうの花』の手話ダンスを披露しました。利用者様、職員共に楽しんで発表することができたと思います。本番後に利用者様からは「来年は何の曲にしようか」との話がありまた来年の発表を楽しみにしている様子が見られていました。

支援員 星野良太

「光の園 新年会」

令和7年1月17日、桐生グランドホテルにて、合同新年会としては令和2年ぶりの「光の園新年会」が開催されました。コロナやインフルエンザが流行る中、利用者様は体調崩すことなく参加することができました。



最初はかしまった面持ちの利用者様でしたが、代表の本多様の「乾杯！」の挨拶を皮切り

に、いつもと違う雰囲気の中料理を楽しまれ、余興の大正琴の演奏やカラオケに素敵な笑顔を見せて下さいました。携わって下さった全ての皆様、ご協力いただきありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

支援員 白石歩美

令和6年度先の方々からご寄付ご寄贈を頂戴いたしました。ありがとうございます。

【お名前のみ掲載】

木村武志様
樹徳高校様
赤南診療所様
天台宗総務庁様

